

臨床研究名：非小細胞肺癌pN2のゾーン・個数による予後層別化に関する研究

岡山労災病院では、以下の研究を行っています。
当研究では、患者さんからのカルテデータ使用についての同意がなかったものについては使用していません。
また同意した後に同意撤回することも可能です。その場合でも患者さんの不利益が生じることはありません。

研究 題 名	非小細胞肺癌pN2のゾーン・個数による予後層別化に関する研究
対 象 患 者	2012年1月1日～2024年12月31日の間に岡山労災病院において肺癌手術を受けられ、縦隔リンパ節転移を有していた方約15名を研究対象とします。
研究目的及び内容	<p>2025年1月から、肺がんの進行度(ステージ)を評価する新しい基準「肺癌取り扱い規約 第9版」が導入されました。この基準では、がんが肺の周囲にある「縦隔(じゅうかく)リンパ節」に転移した場合(N2と呼ばれます)に、転移しているリンパ節の部位(医療用語で「ステーション」と呼ばれます)の数に応じて、「1か所だけに転移している場合(N2a)」と「2か所以上に転移している場合(N2b)」に分けて評価する方法が取り入れられました。これにより、がんの広がりをより詳しく把握できるようになります。</p> <p>しかし、実際の手術では、隣接する複数のリンパ節をまとめて切除することが多く、どの部位(ステーション)に転移していたかを正確に区別するのが難しい場合もあります。そのため、この新しい分類(N2a/N2b)だけでは、がんの進み方や患者さんの状態を十分に評価できない可能性があります。</p> <p>そこでこの研究では、転移したリンパ節の数や、転移が広がっている範囲(上の方・下の方など、医療用語で「ゾーン」と呼ばれます)にも注目し、がんの状態をさらに詳しく分類できるかを検討します。岡山大学病院を中心に、関連する複数の医療機関と協力して、多くの患者さんの診療情報をもとに解析を行う予定です。</p> <p>この研究により、どのようなリンパ節への転移が患者さんの予後(病気の経過)に影響するかが明らかになれば、将来の治療方針や手術後の追加治療を考えるうえで、より正確で役立つ情報が得られることが期待されます。</p>
使用する患者情報等	<p>この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <ul style="list-style-type: none">・基本情報: 年齢、性別、病歴、身長、体重、PS(全身状態指標)、既往歴、喫煙歴・血液検査(CBC、生化学、腫瘍マーカー)、画像検査(CT・MRI・PET)・腫瘍組織型、病理病期、術前後の化学療法・放射線療法の有無および内容・術式、術後病理診断、リンパ節情報(郭清領域、郭清個数、転移リンパ節個数・部位)、術後経過、再発日、再発部位、生存情報、死因
研究 担 当 者	所属・職名: 外科 医師 氏名: 葉山 牧夫
研究 分 担 者	共同研究所属: 岡山大学病院など
	共同研究者: 豊岡伸一ら
研究 期 間	研究機関の長の許可日 ~ 2028年 3月31日
研究 区 分	<input type="checkbox"/> 臨床研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 観察研究 ・ <input type="checkbox"/> その他
倫理審査の有無	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (決済日:2026年 1月 7日 承認No.580)
利益相反の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (決済日: 年 月 日 承認No.)
医薬品や物品の提供	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (名称: 年 月 日)
学会発表・論文投稿	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (公表する結果は統計的な処理を行ったものののみ)
問い合わせ先 相談窓口	所属: 外科 氏名: 葉山 牧夫
	TEL: 086-262-0131(代) FAX: 086-262-3391
備 考	